

新人医師初期研修「マッチング」

本県過去最多121人内定

充足率初の8割超 県全体で底上げ

来春の新人医師の初期臨床研修先を決める本年度の「マッチング」で、本県の研修病院では過去最多の121人(マッチ者)の内定が決まり、定員に対する充足率が83・4%に達したことが19日分かった。2003年度にマッチング制度が導入されて以来、8割を超えたのは初めて。

県内の定員は昨年度の15病院・151人から16病院・145人に減ったが、マッチ者は10人増加した。

県と研修病院でつくる県医師臨床研修協議会の事務局を務める長崎大学病院医療教育開発センターの濱田久之教授は「県を挙げてリクルート活動を展開したほか、充実した研修を県全体で受けられる仕組みを作っ

たことが評価された」と分析。「来春までには医師国家試験などがあつて減る可能性はあるが、100人以上の研修医を採用できるのではないかとみている。

マッチングは、医師を目指す学生と受け入れ病院の希望の組み合わせで研修先を決める仕組み。県内では長崎大学病院、長崎医療センター、佐世保市総合医療

センターの3カ所に研修医が集中し、1人も採用できない病院が6、7カ所に上る時期もあった。

濱田教授によると、本年度は大学病院の定員を減らす一方、他の病院の研修医が大学でも学べるプログラムを作るなど、県全体で医

師養成体制の底上げを図った。その結果、マッチ者ゼロの病院は3カ所にとどまったという。(小出久)

県内の病院別マッチング結果

病院名	定員	マッチ者数
長崎みなとメディカルセンター	12	11
長崎原爆病院	8	8
長崎大学病院	55	47
佐世保市総合医療センター	14	14
佐世保中央病院	6	4
国立病院機構長崎医療センター	19	19
県島原病院	4	0
諫早総合病院	5	5
県五島中央病院	3	2
済生会長崎病院	4	4
佐世保共済病院	2	0
市立大村市民病院	2	1
県上五島病院	3	1
県対馬病院	2	0
長崎労災病院	2	2
上戸町病院	4	3
計	145	121

※医師臨床研修マッチング協議会資料に基づき作成